青　空

北九州市立洞北中学校　学校通信

校長　　竹中　雅則

令和６年１月１６日
第１９号

校則の見直しを行いました

校則見直しについては、校則を通して**「生徒自らが自律した規範意識を育てていくこと」「生徒が自発的、自治的により良い学校を創っていこうとすること」「生徒・教師と保護者、地域が強い信頼関係によって連携を密にしていけるということ」**が重要であると考えています。本校では、生徒総会で可決された生徒からの要望をうけて、生徒代表を含めた校則検討委員会を２回開催し、保護者向けのアンケート実施、学校運営協議会や中学校区校長会などのご意見を参考にしながら、職員の中で複数回の会議を行って検討してきました。

その結果、**「洞北中学校のきまり」**（HPに掲載予定）**を新たに以下のように見直し**、１月１５日（月）に全校集会を行って生徒に配布して説明しました。

校則を見直すことは、「校則を甘くする」ことではありません。生徒と学校、保護者、地域が見直しの目的や意義を正しく理解することが重要です。そのため、**「校則について　Ｑ＆Ａ」**（HPに掲載予定）を作成しています。

今後も継続して校則の見直しやＱ＆Ａの更新に取り組んでいく予定です。

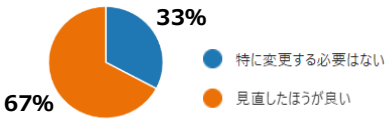
洞北中学校の生徒、教師、保護者、地域が一丸となってよりよい学校を創っていきたいと思います。ご理解とご協力をお願いします。

保護者アンケートのご協力ありがとうございました

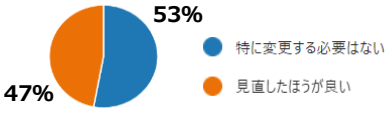
校則見直しについて230名を超える回答をいただきました。結果をお知らせします。

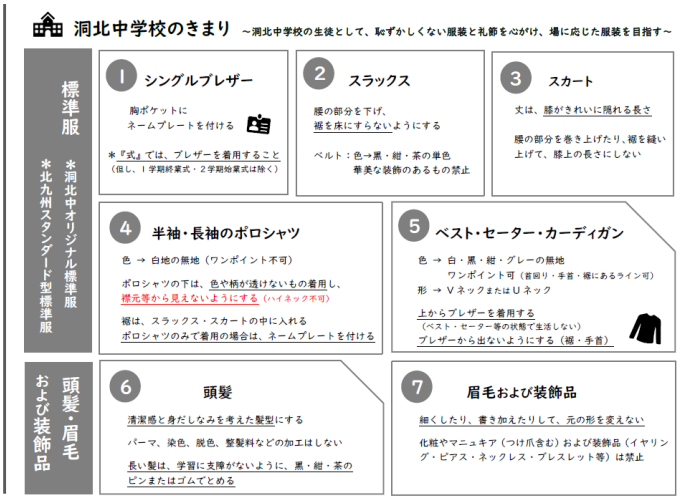
記述内容についての紹介は割愛させていただきますが、いただいたご意見は今後の学校運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

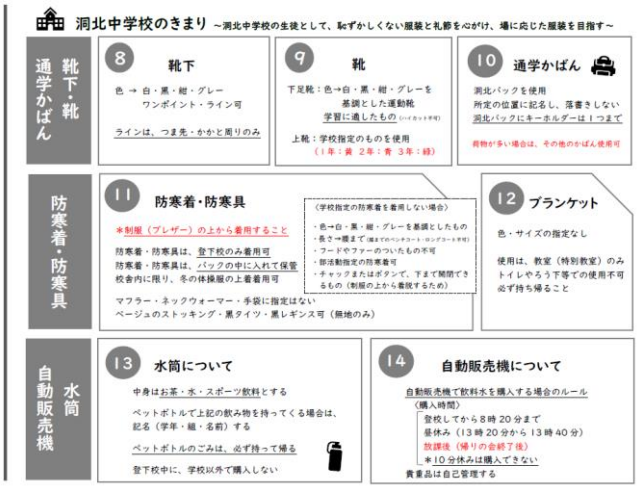
①「洞北中のきまり」にある髪型に関する内容について



②「洞北中のきまり」にある眉毛に関する内容について







洞北中の生徒・職員は頑張っています！

始業式の後の集会で、とても**多くの生徒に表彰状を渡すことができました！**校長として、生徒の頑張りをうれしく思い、指導してもらっている先生方に感謝しています！これからも応援よろしくお願いします！

インスタグラム「洞北中学校　校長日記」のご閲覧、ご支援ありがとうございます。フォロワー間のトラブル防止のため、フォローはご遠慮いただいています。適切な運用になるようにご理解とご協力をお願いします。

「心配り」について考える

私はスポーツ観戦が好きなのでよく会場に足を運びます。その時に、気になる行動があります。それは、**「観覧席の椅子やベンチを土足で踏む」人が結構いる**こと。

だれも座っていないし、屋外だし、通路が狭いし、と理由はあるかもしれません。でも、**それを目にした私はとても嫌な気持ちになります。**自分のものではないし、迷惑をかけられたわけでもないのですが・・・。

些細な行動でも、それを周りの人がどのように感じるか、不快にさせていないか、**相手の立場になって考えることが「心配り＝思いやり」**です。**挨拶も同じ**。少し意識を変えるだけで見える景色が変わるかもしれません。